

化学

Chemistry

教 授	高橋 康丈	Yasutake Takahashi
准教授	杉森 保	Tamotsu Sugimori
助 教	角田 広子	Hiroko Kakuda

◆ 研究概要

高橋康丈：有機および生物有機光化学反応の中間体に関する研究。

杉森 保：フェニル誘導体の導入を基盤とする両親媒性フタロシアニン錯体の合成。

角田広子：超原子価ヨウ素化合物による分子内アミノ環化反応の開発とその応用。

◆ 学会報告

- 1) 杉森 保, 中尾美恵, 半田 真, 高橋康丈. 両親媒性側鎖を持つフェニル誘導体置換フタロシアニン錯体. 第 27 回基礎有機化学討論会; 2016 Sep 1-3; 広島. (1P066)
- 2) Isago H, Fujita H, Sugimori T. Fluorescence study on phosphorous(V)-phthalocyanine complexes. 錯体化学会第 66 回討論会; 2016 Sep 10-12; 福岡. (1PB-024)
- 3) 角田広子, 桐原正之, 高橋康丈. 超原子価ヨウ素化合物による分子内アミノ環化反応及び mannosidase 阻害活性 iminosugar の改良合成. 日本薬学会第 136 年会; 2016 Mar 26-29; 横浜. (28AB-pm041)